

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

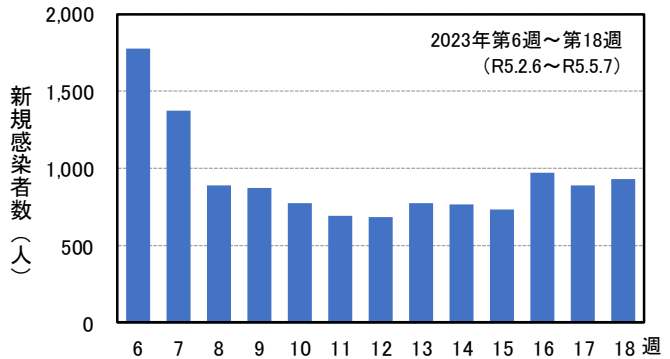
第18週に935件の報告があり、ほぼ横ばいで推移しています。5月8日から5類感染症に移行し、感染対策は個人や事業者の自主的な判断に委ねられました。感染症法上の位置付けが変わっても、手洗い、換気、状況に応じたマスクの着用などの対策が有効であることに変わりはありません。引き続き、一人一人が対策に取り組むことが大切です。

2 インフルエンザ

定点当たり3.14人の報告がありました。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第18週 A型:69人、B型:0人

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



3 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は2件になりました。感染の可能性のある方や不安をお持ちの方は、早期発見、早期治療、パートナーへの感染防止のため、検査を受けましょう。

【参考】HIV/エイズに関する相談と無料・匿名検査(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/108883.html>



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減	
												急増減	増減
小児科	インフルエンザ	110	3.14	0.27		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.10		急増減	↑
小児科	咽頭結膜熱	13	0.54	0.22		眼科	RSウイルス感染症	21	0.88	0.26		増減	↘
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	1.17	0.64			急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↔
	感染性胃腸炎	81	3.38	3.28		基幹	流行性角結膜炎	8	1.00	0.70		横ばい	→
	水痘	2	0.08	0.15			細菌性髄膜炎	-	-	-			
	手足口病	2	0.08	0.29			無菌性髄膜炎	-	-	-			
	伝染性紅斑	-	-	0.08			マイコプラズマ肺炎	-	-	-			
	突発性発しん	5	0.21	0.25			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.07			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	0.83			

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

今週(第18週)は、ゴールデンウィークの休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、前週(第17週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	41	30歳代、70歳代、80歳代
4	レジオネラ症	2	9	70歳代、90歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	2	50歳代・エイズ
5	梅毒	1	86	60歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
																					第14週
報告数	広島市	253	1	12	56	6	2	1	5	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-
		193	4	19	89	-	-	-	2	2	1	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		212	15	33	110	2	2	-	12	-	-	9	-	3	-	-	-	-	-	-	1
		176	14	43	108	1	-	2	10	3	-	28	2	1	1	-	-	-	-	-	-
		110	13	28	81	2	2	-	5	4	-	21	-	8	-	-	-	-	-	-	1
定点当たり	広島市	7.03	0.04	0.50	2.33	0.25	0.08	0.04	0.21	-	-	0.08	-	0.63	-	-	-	-	-	-	-
		5.36	0.17	0.79	3.71	-	-	-	0.08	0.08	0.04	0.25	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-
		5.89	0.63	1.38	4.58	0.08	0.08	-	0.50	-	-	0.38	-	0.38	-	-	-	-	-	-	0.14
		4.89	0.58	1.79	4.50	0.04	-	0.08	0.42	0.13	-	1.17	0.25	0.13	0.14	-	-	-	-	-	-
		3.14	0.54	1.17	3.38	0.08	0.08	-	0.21	0.17	-	0.88	-	1.00	-	-	-	-	-	-	0.14
全国	第16週	2.51	0.26	0.81	4.95	0.09	0.20	0.01	0.32	0.28	0.03	1.12	0.02	0.28	-	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
	第17週	2.24	0.32	0.82	4.96	0.09	0.19	0.01	0.33	0.33	0.03	1.08	0.01	0.25	0.01	0.03	0.05	-	-	0.01	0.01

■ 広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第18週(5月1日～5月7日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
20	96	154	137	152	167	103	64	42	-	935

【累計報告数(5月7日)現在】 ※2020年からの累計報告数です。

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
47,805	53,093	54,942	56,425	59,526	42,059	23,252	17,487	16,204	405	371,198

5月8日から感染症法上の位置付けが5類感染症に移行したことに伴い、次回週報(第19週)から「定点把握感染症報告状況(週報対象)」に掲載します。

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」 TEL 082-241-4566 (24時間対応)
 自宅療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」 TEL 0570-000-510 (健康相談 24時間、一般相談 8:30～18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



【参考】新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の療養期間について

5月8日から、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、患者は、法律に基づく外出自粛を求められなくなりました。外出を控えるかどうかは、個人の判断に委ねられます。その際、次のことを参考に、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。

新型コロナウイルス感染症の患者は、**発症2日前から7～10日間は感染力のあるウイルスを排出している**といわれており、**特に発症後5日間は他人に感染させるリスクが高い**といわれています。

●発症後5日間を経過し、かつ、症状軽快から24時間を経過するまでの間は外出を控えることが推奨されています。

●発症後10日間が経過するまでは、マスクを着用することやハイリスク者との接触を控えることなどが推奨されています。

【参考】新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の対応について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/coronavirus.html>



高齢者や基礎疾患を持つ人にとって、注意すべき感染症であることには変わりはありません。また、ハイリスクの方でなくても、症状が長引くなど罹患後症状(後遺症)が現れることがあります。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp